社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和03年11月10日

計画の名称	８　「世界トップレベルの自転車共存都市・京都」を目指して［都市・地域交通戦略］		
計画の期間	平成２７年度　～　平成３１年度　(5年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	京都市		
計画の目標	歩行者及び自転車利用者にとって安全で快適な自転車走行空間を整備することにより，自転車事故の軽減を図る。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	462	A	443	B	0	C	19	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	4.11	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
1	京都市内における自転車関係の事故件数を1,577件から1,200件に減少			
	京都府警データの京都市内における自転車が関係する事故件数により算出	1577件	1400件	1200件
2	自転車と歩行者との共存ができていないと感じている人の割合を40.8%から38.8%に減少			
	京都市が実施している市民生活実感調査結果により算出 （自転車と歩行者との共存ができていないと感じている人の割合）＝（どちらかというとそう思わない人の割合）＋（そう思わない人の割合）	41%	40%	39%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000325143

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	京都市	直接	京都市	－	－	都市・地域交通戦略推進事業	自転車通行環境整備	京都市	■	■	■	■	■	443		－
											小計						443		
											合計						443		

案件番号：　0000325143

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市交通	一般	京都市	直接	京都市	―	―	都市・地域交通戦略推進事業	自転車利用者等へのルール・マナー啓発	京都市	■	■	■	■	■	19		―
		自転車の車道左側走行の周知徹底やルール・マナーの啓発などを行うことにより自転車事故の軽減を図る。																	
											小計						19		
											合計						19		

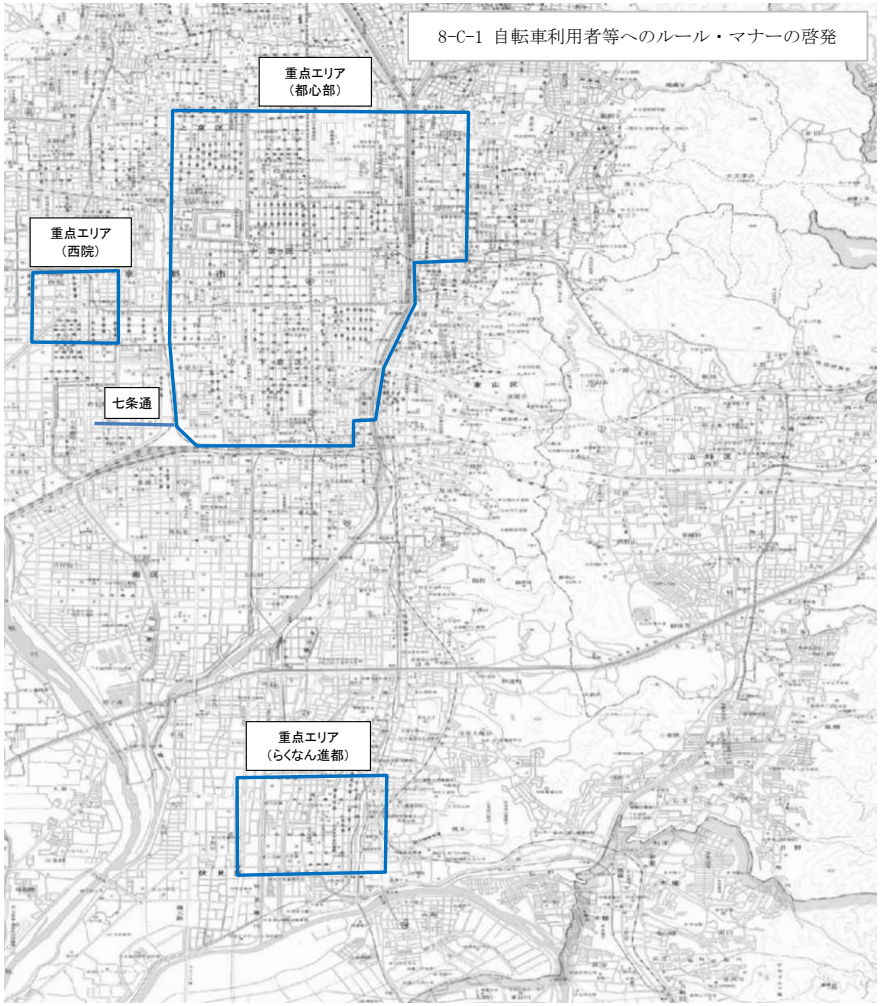
案件番号： 0000325143

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 京都市で評価を実施	事後評価の実施時期 令和元年度末（令和2年度への繰り越し分事業含む） 公表の方法 京都市ホームページにより公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	自転車走行環境整備の推進や，安全教室等の継続的な実施により，自転車関連の交通事故の減少及び自転車と歩行者が共存できていないと感じる市民の割合の減少につながっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後とも，誰もが安全で心地よく走行できる環境の整備に取り組んでいくとともに，安全教室等の実施を通して，自転車のルール・マナーの啓発を行っていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	自転車が関係する事故件数		
	最　終 目標値	1200件	自転車走行環境の整備や安全教室等の継続的な実施により，自転車関係の事故件数が大幅に減少することにつながった。
	最　終 実績値	668件	
2	市民生活実感調査		
	最　終 目標値	39%	自転車走行環境の整備や安全教室等の継続的な実施により，目標値を達成することができた。
	最　終 実績値	36%	

（参考図面）　社会資本総合整備計画

計画の名称	8　「世界トップレベルの自転車共存都市・京都」を目指して		
計画の期間	平成27年度～平成31年度	交付団体	京都市



N

凡　例	
━	8-A-1 都市・地域交通戦略推進事業 （自転車通行環境整備事業）